

第6回都留市ふれあい全国俳句大会

都留市は、天和二年江戸の大火によって庵を焼かれた松尾芭蕉が、約半年間流寓の生活を送り、蕉風俳句への開眼を果たした地であります。このように、芭蕉と深いかわりをもつ本市では、市民をはじめ、全国俳句愛好者が、俳句を通して、芭蕉の心にもふれるとともに、お互いの心のふれあう場となることを念願して、都留市ふれあい全国俳句大会を開催します。皆さんおさそい合わせの上、ご来場くださいますようお願いいたします。

期日 4月25日(日)

時間 午前11時から受付開始

場所 うぐいすホール小ホール

席代投句 二題二句(当日出題)

日程

・受付 午前11時～午後12時30分

・席代投句締切 午後1時

・応募作品入賞者発表 午後1時

・同選評 廣瀬 直人先生

午後1時20分

・同表彰 午後1時40分

・講演 講師 大串 章先生

(「百鳥」主宰)

午後2時10分～3時40分

・当日投句入賞者の発表

午後3時40分

・同選評 福田 甲子雄先生

午後4時10分

・同表彰 午後4時30分

・閉会 午後5時

当日投句の選者

小林波留、堤高嶺、廣瀬直人、

福田甲子雄、山本琴嶺

(敬称略・五十音順)

俳句講演会

本大会応募句の選者である、大串章先生(「百鳥」主宰)をお招きして、講演会を開催します。

開催日 俳句大会当日(4月25日)

時間 午後2時10分～3時40分

開合先

生涯学習課 文化振興担当



「水面鏡九十四人集」より

シリーズ13

男女共同参画社会実現にむけて

女と男ともに築こうわたしたちのまち

都留市女性プランとまちづくり

都留市女性プラン推進委員会

去る三月六日(土) YLLO会館四階大ホールで、第三回都留市女性プラン推進フェスティバルを開催しました。男女約一五〇名余りが参加し『シンポジウム』を行い、市長さんや会場の皆さんも交えて「わたしたちのまちつる」について語り合いました。

今回特に感激したことは、三〇数名の男性の参加があり、少子・高齢社会・教育・性別意識問題などをともに考えたことでした。

市長さんは、住みよい都留市にするためには、お互いに良いところを出し合い、ともに生きていく《共生の社会》づくりが必要であり、各種審議会委員なども公募の形をとり、女性の声を施策に反映させたいと語りました。また、子育てや幼児教育・学童保育についてもふれ、二十一世紀のビジョンの中に反映させたいと力強い声援をくださいました。

田中教育委員さんは、都留市の実態調査をふまえ、まちづくりを考える中で策定委員が知恵を出し合い、女性プランを策定したこと、お互いに人間として認め合い支えることが理念であることを語られました。戸澤さんは、仏教社会にも古いしきたり・慣習などを保持する考えが根強いことを事例をあげて語り、男だから、女だからでなく、人間として生きがいをもって生きて行くための教育が必要であると強調されました。

望月さんは、子育てと仕事を両立させるためには、家族の協力と支えが必要であり、働く女性のための環境整備をお願いしたいと語りました。

まとめとして、上野先生から「男女共同参画社会」表現のためには、人口の半分を占める女性が、政策決定の場にも積極的に参画できるようなまちづくりと、住民と行政のパートナーシップが重要であると強調されました。

会場からもたくさんのご意見をいただき、時間が足りないくらいで、フェスティバルは有意義に終了しました。



コーディネーター 大月短大非常勤講師 上野 富美枝
シンポジスト 都留市長 小林 義光
教育委員 田中 芳雄
正蓮寺住職 戸澤 葉子
仕事をもつ母親 望月 育代 (敬称略)